



秋季大祭当日の親里。秋らしい澄んだ青空が広がった



本部神殿では、代表者のみが昇殿して参拝。かぐら・てをどりが厳かに勤められた



参拝者は、感染防止に配慮し、共に「みかぐらうた」を唱和した



家族連れなどで帰参した人々

立教の元一日に思いを馳せ

立教183年 秋季大祭

立教183年秋季大祭は10月26日、奈良県天理市の天理教教会本部で執り行われた。教会本部では、新型コロナウイルスの感染拡大を防止する対策として、代表者のみが本部神殿に昇殿して参拝するようにしたほか、天理教ホームページ上に「本部大祭および月次祭参拝時の留意事項」を掲示して感染防止対策を徹底した。天保9（1838）年10月26日、教祖・中山みき様を通して、親神様が初めてこの世の表にお現われになったこの日。帰参した人々は、立教の元一日に思いを馳せて、共に「みかぐらうた」を唱和した。

